

みんなで楽しむ。ヒルクライムレース！ヒルクライムチャレンジシリーズ2012



HILL CLIMB  
CHALLENGE SERIES  
in NIRASAKI 2012

# 萠崎甘利山大会を開催



スタート直後の様子。(甘利山入口ゲート付近)

## 紅葉に染まる林間コースで 348名のサイクリストが健脚を競う。

11月4日(日)、甘利山を舞台に、自転車のロードレース「ヒルクライムチャレンジシリーズ萠崎甘利山大会」が初めて開催されました。快晴にも恵まれたレース当日は、県内はもとより、北は宮城県、南は三重県などの全国各地から、カテゴリーごとに小学生から60歳以上の男女多くが当地を訪れ、全長11・7km、標高差1146m、最大勾配13・5%の日本でも屈指の上級者コースで健脚を競いました。



「1番になってね」会場には家族など、多くの応援団も訪れた。

甘利山が有する地域特性を活かした新たな魅力の創出により、本市を広くPRするとともに、全国各地から多くの人々を誘客し、地域の活性化につなげることを目的として、(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズや(株)スパイラルアップほか、多数の企業・団体等の協賛・協力をいただくなか、県道甘利山公園線を主要コースに、甘利山山頂直下までのレースが繰り広げられました。

ヒルクライムチャレンジシリーズは、自転車競技イベントによる「地域の活性化」と自転車による「新しい社会の創造」を目的に、2011年からスタートした全国規模のイベントで、山地や丘陵など、自然の地形を活かした登



パレードのスタートを告げるピストルを鳴らす横内公明大会会長。  
(金無川河川緑地での開会式にて)

坂コースでタイムを競う自転車競技のことで、2年目を迎えた本年は、すでに終了した大会も含め、全国7会場での開催が決定しており、そのうちのひとつとして甘利山大会が開催されました。

第一回大会となった今大会は、秋晴れの好天にも恵まれたなか、神奈川県乾友行選手が4分35秒の好タイムで総合第一位に輝き、ほぼ全員が完走するなか無事終了。表彰式終了後は、多くのサイクリストから、次回の大会(次年度以降、通年開催の予定)への参加の声が聞かれました。大会実行委員の皆さん、ご協賛・ご後援・ご協力いただいた企業・団体の皆さん、大会運営のサポートをいただいたボランティアスタッフの皆さん、ありがとうございました。

**カテゴリー別優勝者**  
 ※敬称略

●チーム(男女ペア)



**なるしまフレンド鶴**  
 小島由起子・河西 隼  
 [東京都多摩市]  
 1時間57分19秒

●チーム(ファミリーシヨート)



**チーム コーシ**  
 森田 裕見子・鉄舟・克馬  
 [山梨県甲府市]  
 51分12秒

●チーム(ファミリー)



**Team O**  
 大澤 真由・侑愛・友裕  
 [山梨県甲府市]  
 1時間32分29秒

●チーム(一般)



**アバンテージ**  
 本田浩一・大塚啓示・角竜一郎  
 [栃木県]  
 2時間48分39秒

●小学生3・4年男女(シヨート)



**渡辺 耶斗**  
 [東京都練馬区]  
 41分05秒

●小学生5・6年男女(シヨート)



**森田 克馬**  
 [山梨県甲府市]  
 51分11秒



**大澤 真由**  
 [山梨県甲府市]  
 1時間27分18秒

●中学生男女



**吉田 泰大**  
 [神奈川県川崎市]  
 1時間00分09秒

●MTB男子(シヨート)



**石原 秋彦**  
 [山梨県中央市]  
 37分43秒

●MTB男子(16歳以上)



**岡本 広幸**  
 [東京都稲城市]  
 53分24秒

●ロードレーサー男子(シヨート)



**武部 恭也**  
 [埼玉県さいたま市]  
 37分31秒

●ロードレーサー女子(シヨート)



**吉田 夕美**  
 [神奈川県川崎市]  
 53分39秒

●ロードレーサー女子B(36歳以上)



**勝野 弥生**  
 [神奈川県茅ヶ崎市]  
 1時間03分38秒

●ロードレーサー女子A(16~35歳)



**小島 由起子**  
 [東京都多摩市]  
 59分57秒

●ロードレーサー男子D(61歳以上)



**高山 信行**  
 [神奈川県海老名市]  
 56分00秒

●ロードレーサー男子D(51~60歳)



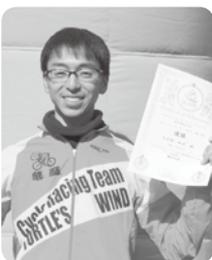
**高橋 幸村**  
 [東京都江戸川区]  
 51分20秒

●ロードレーサー男子C(41~50歳)



**袴田 健**  
 [埼玉県飯能市]  
 50分20秒

●ロードレーサー男子B(31~40歳)



**大久保 知史**  
 [埼玉県越谷市]  
 47分45秒

●ロードレーサー男子A(16~30歳)



**仲沢 優祐**  
 [山梨県甲府市]  
 48分31秒

●ロードレーサー男子A(チャンピオン)



**乾 友行**  
 [神奈川県相模原市]  
 44分35秒

●男性総合優勝

◆乾 友行さん

天気が良く、景色もきれいで、すぐ走りやすかったです。距離もちょうど良く、勾配も結構あって、走りがいのあるコースでした。チャンピオンとして来年も参加したいと思います。

●女性総合優勝

◆小島由起子さん

先週の試走のときは寒かったですですが、今日は暖かくて最高でした。勾配も結構好きなのアットホームな雰囲気、大会を続けていつて欲しいなと思います。来年もぜひ参加したいですね。



チャンピオンジャージを着る  
 乾 友行氏と小島由起子氏  
 (左) (右)

◆秋山よし美さん（萠崎市）

すくきつコースでした。地元でヒルクライムが開催されると聞いたときから「リタイヤしてもいいから参加してみよう」と思い、練習を始めました。自分ではゴールするつもりでしたが、タイム制限に少し間に合わず、リタイヤとなってしまい残念でした。また、来年も参加したいです。



**大会を盛り上げた「チャレンジ縁日」**

ヒルクライム開・閉会式会場となった釜無川河川緑地では、『まち・仲間・親子がつながる』をコンセプトに、「自然」「食」「エンタテインメント」を共通のテーマとして、参加者と地元の人々が一緒に楽しむブースやイベントを開催。

地域色豊かなおもてなしイベントに、訪れたサイクリストたちは、レース後の疲れも忘れて、各種パフォーマンスに魅入っていました。



三宅太鼓山梨会による和太鼓演奏。



にらさき秀麗によるよさこい踊り。



ご当地アイドル FUJI SAKURA 塾による歌とダンスパフォーマンス。



梨北農業協同組合による特産品の販売など、多数のブースも設けられた。



◆福沢 恵美さん（左側）  
 佐藤 美緒さん（右側）  
 （長野県駒ヶ根市）

ヒルクライムのイベントに初めて参加しました。とにかくきついコースでしたが、途中の景色がすごくきれいで楽しめました。コースは、きつかったけど途中でみえた富士山がすごくきれいでした。

**チャレンジ！まいたうんカレー  
 栄冠は「にらたっぷりカレーほつとっ」に決定！**

ヒルクライムチャレンジシリーズのもう一つの戦いは、開催地の地元食材を使用したカレー・コンテスト。事前に応募のあった13のカレーレシピの中から、1次審査を通過した上位3つのご当地カレーチャンピオンまな板をかさす木内代表



が、大会当日の決勝戦に登場。実食した来場者による投票の結果、栄えあるチャンピオンカレーに、萠崎にらの会の「にらたっぷりカレーほつとっ」が選ばれ、木内代表に記念の「チャンピオンまな板」が贈呈されました。

第2位以下は次のとおり。  
 第2位 新府アップルキムチカレー 中田町食生活改善推進員会  
 第3位 新府の桃っ娘カレーコロッケ 清哲町食生活改善推進員会

